

化学物質管理目標決定及び達成状況の届出について

【届出対象者】

第一種管理化学物質の排出量・移動量・取扱量の届出対象者のうち、常時使用される従業員数が50人以上の事業所を府内に持つ事業者

(1) 化学物質管理目標決定及び達成状況の届出書の作成方法

この届出は、対象とする化学物質を定めて、排出量の削減などの自主的な目標を策定し、化学物質による環境リスクの低減を進める内容を届け出るものです。

初年度は有害性が高い、あるいは取扱量が多いなど環境リスクが高い管理化学物質を選定して管理目標を定め、その目標を達成するための具体的な方策に関する計画を作成します。次年度以降は、目標の達成状況及び目標を達成するために実施した対策の内容を届出してください。

2) 届出様式について

以下のホームページからダウンロードできます。

<http://www.pref.osaka.lg.jp/kankyohozen/shidou/kanri.html>

届出内容について、毎年大阪府へ報告する必要があります。その際、お届けいただいたエクセルファイルを専用のシステムにおいて取り込む必要がありますが、様式が変更されると取込エラーが発生しファイルの修復作業等に時間を要する場合がありますことからお手数おかけ致しますが、**毎年最新の様式を入手するとともに、セルの削除、結合、挿入等の加工はしないよう**ご協力をお願いします。

○注意事項

1 初めて目標決定及び達成状況届出書を提出する事業者の方へ

化学物質管理目標や目標を達成するための具体的な方策等を届出してください。

2 既に目標決定及び達成状況届出書を提出している事業者の方へ

化学物質管理目標を達成するための対策の進捗状況や達成状況等を届出してください。**ただし、目標達成年度における達成状況等を届出する年度には、達成状況等の届出に加えて新たな目標を策定して届出してください。**

目標達成の最終年度（目標（達成）年度）の達成状況を届出される事業者様へ

既に管理目標の届出をしている事業所で、今回の届出が目標達成の最終年度（目標年度）の達成状況を届出される事業者は、次の目標を決定し、併せて届出してください。

(例) 目標年度：2021年度 届出年度：2022年度 の場合

→ ①2021年度の目標達成状況の届出
②2022年度を計画初年度とする管理目標決定の届出 } 2種類の届出が必要です

3) 化学物質管理目標決定及び達成状況の届出の記載事項の説明

説明1 管理化学物質の種類

貴事業所で行っている管理化学物質のうち、管理の改善を進めて環境リスクの低減を図るべき管理化学物質を選定して記入してください。また、この届出書は1物質ごとに提出してください。

なお、揮発性有機化合物（VOC）（府条例施行規則別表第18の10第24号）の年間取扱量が1トン以上の場合、VOC又はVOCに該当する個別の物質（例えば、トルエン等）を優先的に選定してください。

管理化学物質の選定にあたっては、指針第4の2(1)（指針の解説を含む）に示す貴事業所で行う管理化学物質の有害性に係る情報、ばく露性に係る情報をもとに、指針第4の2(2)（指針の解説を含む）に示すような管理化学物質のリスク評価を行ってください。

説明2 管理の改善の方法

「管理化学物質の種類」の欄に記入した管理化学物質に対して、どのような方法で管理の改善を進めるか、該当する欄に「○」を入力してください。

従前から化学物質の適正管理を積極的に実施されており、これ以上の改善が現時点では難しい場合は、以下の例に示すような方法で行ってください。

- (例)
- ・排出原単位（例、「化学物質Aの大気への排出量÷製品の製造量」、あるいは「化学物質Aの大気への排出量÷化学物質Aの取扱量」という比率）を減らす。
 - ・地域住民とのリスクコミュニケーションを推進し、住民に貴事業所での化学物質管理について理解してもらおう。
 - ・マネジメントシステムの改善により、化学物質の取扱時における無理、ムラ、無駄の一層の排除を行う。
 - ・現状維持。（ただし、現状維持の状況になるまでの今までの改善の過程、どのようにして現状維持を担保していくかの説明が必要です。）

「管理の改善の方法」を排出量の削減とした場合には、「指標とする項目」「指標とする項目に係る目標」についても排出量（大気、公共用水域、土壌、埋立）に関連する項目から選択し項目間の内容について整合がとれるようにしてください。

説明3 指標とする項目、指標とする項目に係る目標、改善率

「指標とする項目」については、「管理の改善の方法」を進めていく段階で、その改善の程度を把握・検証等するための指標となるものを選んでください。

「指標とする項目」の例を5ページに示しています。

「指標とする項目に係る目標」については、当該化学物質の管理の改善計画で達成しようとする目標値を記入してください。

(目標の例)・VOCの大気への年間排出量を基準年度から、〇〇〇kg/年削減する

- ・メタノールから純水への転換率(純水量/メタノール量)を〇〇%にする。
- ・設備の安全化を施す箇所を全〇箇所設定し改善する。
- ・環境報告書の発行回数を3年に1回から毎年とする。

「改善率」については、「管理の改善の方法」として排出量・移動量・取扱量の削減を選定している場合に、基準年度に対する目標達成年度における改善率を記入してください。数値化しにくい指標とする項目の場合は、改善率の記入は不要です。

説明4 目標達成年度

本届出は、化学物質の環境リスクを低減する取組みを進めることを目的として、事業所ごとに化学物質の管理の改善計画・目標を立て、毎年その進捗状況について届出を行うものです。

目標を達成するために取組む期間(1サイクル)は、概ね5年程度の期間を想定しています。届出の開始時期が事業所で異なるため、以下のような期間を設定してください。(2022年度に初回の届出を行う場合、可能であれば2021年度を基準年度とし、目標達成年度を2026年度としてください。)

なお、本届出は各事業者で自主的に環境リスクの低減を進めていただくことを基本としていますので、工場の建替えや拡充計画等の長期計画をお持ちの場合や、既にPDCAサイクルを実行している場合などは、目標達成年度が上記以外になることを妨げるものではありません。

また、目標を達成するため、PDCAを繰り返して行い、目標の達成が危ぶまれる場合は、必要に応じて追加対策を実施するなどして、目標の達成に努めてください。

初回の届出が2022年度の場合の目標年度設定例

2021	2022	2023	2024	2025	2026
排出量等 基準年度	計画 初年度		中間 目標年度		目標 達成年度

説明5 目標決定に当たっての考え方

説明1と密接に関係するところですので説明1も参照してください。

- (1) リスク評価の結果
- (2) 事業者独自の判断基準にそって対象物質を決定した場合の判断基準
- (3) 技術面、費用面を含めた各種削減対策の比較検討結果

(1)～(3)の結果等をもとに、最終的な目標決定をした際の考え方を記入してください。記入欄が足りない場合は別添にして記入してください。（様式は自由です）

説明6 化学物質管理目標を達成するために実施した対策の内容、化学物質管理目標の達成状況、化学物質管理目標を達成するために実施した対策の検証の結果

これらの欄は毎年度内容が変わりますので新たな記述が必要です。
届出前年度の進捗状況に基づいて記入してください。

「化学物質管理目標の達成状況」は経過がわかるよう、届出前年度の指標とする項目の実績値（削減量等）と改善率を、前回届出内容に追記する形で記入してください。

(例)

- ・2020年度（基準年度）実績でVOCの大気への排出量は10,000kg。
- ・2021年度実績でVOCの大気への排出量は9,400kg。基準年度から600kg削減、改善率6%。

「化学物質管理目標を達成するために実施した対策の検証の結果」は、前年度の実績について自ら検証した結果を記入してください。検証にあたっては、事業所で作成した化学物質管理計画書であらかじめ定められた体制と手順にしたがって実施してください。なお、第三者評価を行った場合にあっては、その結果も加味してください。

(例)

- ・〇〇年度の目標達成に向け順調に進んでいる。
- ・目標を順調に達成できた。
- ・〇〇年度の目標達成に向け概ね順調に進んでいるが、一部に〇〇といった課題が残されている。
- ・〇〇年度の目標達成に困難な課題（〇〇）があり、今後具体的方策の検討を予定している。
- ・目標達成に向けての取組みを行ったことで、使用していない溶剤のフタが閉まっていることを作業員が確認する等、意識の向上が見られた。
- ・生産量の増加に伴い、使用量が増加したが、生産量1トンあたりの使用量は減少しており、作業効率は改善している。
- ・塗料を調製する際、必要量だけ作成し、余剰分が少なくなるようにした。

説明7 化学物質管理目標を達成するための具体的方策に関する計画(別紙)

この別紙は計画策定時に作成するものですので、2年目以降の実績報告時には計画の内容に変更がない限りは、変更しないでください。なお、計画を変更する場合は、表書きの「化学物質管理目標を達成するための具体的方策に関する計画の変更をしたときは変更した事項」に変更の内容とその理由を記載してください。

別紙の「具体的方策」には、当該年度にて実施する予定の対策等を具体的に記載してください。「指標とする項目」には表書きで設定した「指標とする項目」について、基準年度の値（実績値）及び予定する対策等を実施した際の計画初年度、中間目標年度及び目標年度の計画値を記載してください。

<参考> 指標とする項目の例

1: 上記管理化学物質の大気への排出量の削減量
2: 上記管理化学物質の公共用水域への排出量の削減量
3: 上記管理化学物質の当該事業所の土壌への排出量の削減量
4: 上記管理化学物質の当該事業所における埋立処分量の削減量
5: 上記管理化学物質の下水道への移動量の削減量
6: 上記管理化学物質の廃棄物としての移動量の削減量
7: 上記管理化学物質の製造量の削減量
8: 上記管理化学物質の使用量の削減量
9: 上記管理化学物質の単位使用量当たりの大気への排出量の削減量
10: 上記管理化学物質の単位使用量当たりの公共用水域への排出量の削減量
11: 上記管理化学物質の単位使用量当たりの当該事業所の土壌への排出量の削減量
12: 上記管理化学物質の単位使用量当たりの当該事業所における埋立処分量の削減量
13: 上記管理化学物質の単位使用量当たりの下水道への移動量の削減量
14: 上記管理化学物質の単位使用量当たりの廃棄物としての移動量の削減量
15: 製品の単位生産量当たりの上記管理化学物質の使用量（原単位）の削減量
16: 製品の単位生産量当たりの上記管理化学物質の大気への排出量（原単位）の削減量
17: 製品の単位生産量当たりの上記管理化学物質の公共用水域への排出量（原単位）の削減量
18: 製品の単位生産量当たりの上記管理化学物質の土壌への排出量（原単位）の削減量
19: 製品の単位生産量当たりの上記管理化学物質の埋立処分量（原単位）の削減量
20: 製品の単位生産量当たりの上記管理化学物質の下水道への移動量（原単位）の削減量
21: 製品の単位生産量当たりの上記管理化学物質の廃棄物としての移動量（原単位）の削減量
22: 上記管理化学物質の有害性の低い代替物質への転換率
23: 設備の安全化対策の実施箇所
24: その他（項目を記入下さい。）